

市政記者各位

2023年8月25日
福岡市博物館

タイとふくおかの交流を紹介する企画展を開催します。

「タイ陶磁器展」

福岡市博物館では、歴史、考古、民俗、美術の各分野の学芸員が、さまざまなテーマを設け、博物館資料や館外の文化財を展示しています。このたび、以下の通り企画展を開催いたしますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

タイ陶磁器展 9月5日（火）～11月5日（日）企画展示室3

中世に国際貿易都市として栄えた博多からは、貿易により持ち込まれたと考えられる、14～17世紀（南北朝時代～江戸時代前期）のタイ産陶磁器が出土しています。

福岡市博物館は、令和2（2020）年度に、タイ王国タマサート大学名誉教授 Charnvit Kasetsiri 氏から、タイ産陶磁器コレクションの寄贈を受けました。日本とタイの交流の歴史をより多くの方々に知ってもらいたいとの意向があつてのことでした。

本展示では、これらの寄贈資料をはじめとして、福岡市美術館や福岡市埋蔵文化財センターが所蔵するタイ産陶磁器をおよそ 50点 紹介します。



魚文鉄絵盤 陶片群
（Charnvit Kasetsiri 資料）



鉄絵花文瓶
（福岡市美術館 蔵）



博多遺跡群出土 鉄絵盤・瓶ほか
（福岡市埋蔵文化財センター 蔵）



青磁刻花蓮華文双耳瓶
（福岡市美術館 蔵）



博多遺跡群出土 青磁双耳瓶
（福岡市埋蔵文化財センター 蔵）



青磁瓶ほか（Charnvit Kasetsiri 資料）



黒褐釉双耳壺ほか（Charnvit Kasetsiri 資料）



灰釉蓮の実摘み合子
（福岡市美術館 蔵）



黒釉盤口長頸瓶
（福岡市美術館 蔵）



ハンネラ土器 壺・蓋
（福岡市埋蔵文化財センター 蔵）

タイ産陶磁器を寄贈いただいたのは…



タマサート大学名誉教授

平成 24（2012）年 **第 23 回福岡アジア文化賞学術研究賞** 受賞

Charnvit Kasetsiri（チャーンウィット・カセートシリ）氏

アユタヤ史やタイの近現代史を専門とする歴史学者であり、その傑出した研究成果のみならず、それらを教育に取り入れ、活発な啓蒙活動を行ったことが国際的に高く評価されました。

博多遺跡群の出土品を通じて福岡市とタイとの交流をお知りになり、両国の友好の継続に役立ててほしいとご所蔵のタイ産陶磁器コレクションをご寄贈くださいました。

【開催概要】

- ・場 所 ： 福岡市博物館 2 階 企画展示室 3
- ・時 間 ： 9 時 30 分～17 時 30 分（入館は 17 時まで）
- ・休館日 ： 月曜日（月曜日が休日の場合は翌平日休館）
- ・観覧料 ： 一般 200（150）円 高大生 150（100）円
中学生以下無料

※（ ）内は 20 人以上の団体料金、料金は常設展示室・企画展示室共通

※ 11 月 3 日（祝・文化の日）は無料